



堀江小学校 東学舎

所在地 ▶ 大阪市西区北堀江 3-2-16

電話番号 ▶ 06-6531-4821

ファックス ▶ 06-6531-0876

校長名 ▶ 高橋 純一



堀江小学校 西学舎

所在地 ▶ 大阪市西区北堀江 4-9-35

電話番号 ▶ 06-6533-2021

ファックス ▶ 06-6533-2024

校長名 ▶ 高橋 純一



特色ある取組み



SPS認証校(セーフティ・プロモーション・スクール)

本校は、平成29年7月にSPS認証校となり、「生活安全」「災害安全」「交通安全」の推進を目的としながら、安心安全な学校づくりのために教育活動を進めております。避難訓練や防災学習、交通安全学習、生活安全学習を通して、災害や事故が起きた際、一人ひとりが自ら考え、その場でどのような行動をとればいいのか、自分の身を守るための行動は何か。「自助」の意識を持ち、日々の防災意識を高められるように取組みを進めています。



茶の湯体験

地域女性会の方々と保護者の方々のご協力のもと、お茶の作法やおもてなしの仕方について学びます。慣れない正座もお茶の苦みも、子どもたちには新鮮で楽しい体験です。歴史の学習で『茶の湯』を知り、道徳の学習では『ぼくのお茶体験』について考え、日本の伝統『茶の湯』を通して『一期一会』の心を再認識することができます。



ICT活用

本校では、11年前からICT活用事業先進モデル校やパナソニック教育財団の指定を受け、ICT機器に恵まれた環境の中で授業実践を行ってきました。令和3年11月19日(金)には、JAET全日本教育工学研究協議会全国大会の会場校として研究発表しました。ICT活用を通じた未来につなげる新しい学習のスタイルの実現に向け日々実践を積み重ねております。



保幼小連携

本校では、学校行事や地域行事などを通して近隣の保育所・幼稚園・こども園と連携を図ることで、1年生として本校に入学するにあたっての不安を取り除き、スムーズに小学校に移行できるよう取組みを進めています。また、保幼小連携交流会を開き、教員間での情報交換、児童理解に努めています。

主な学校行事



オープンスクール・作品展

オープンスクール(1日参観)では、堀江小学校の保護者にむけて学校を1日公開しています。学習時間だけでなく、休み時間や給食時間等も含め、ご自由に参観していただけます。作品展も同時に開催していますので、子どもたちの作品を鑑賞することもできます。



なかよし班活動

たてわり班で活動や遊びを楽しみます。「なかよし班活動」では、絵しりとりや船長さんの命令など、全員が楽しめる遊びを工夫して取り組んだり、「なかよしまつり」では、それぞれの学級が考えたお店をなかよし班で回ったりします。学年を超えた交流を通して友達の輪を広げ、お互いを思いやることの大切さを学んでいます。なかよし班での活動は、児童が主体的に取り組むことによって、いつも温かい笑顔に包まれています。

学校概要

本校は明治6年11月1日に創立。創立当時の正式名称は「第3大学区・第2中学区西大組第15番小学校」で、和光寺境内に創立し、開校式を挙行了しました。通称、阿彌池(あみいけ)小学校と呼ばれていました。そして、明治28年1月9日に現在の地に移ってきました。空襲のため校舎は全焼しましたが、戦後、昭和26年9月1日、西六小学校と合併した堀江小学校が復校し、現在に至っています。令和6年4月に「堀江小学校 西学舎」が開校し、これまでの堀江小学校は「堀江小学校 東学舎」となりました。

教育目標

「支え合い、健康で、創造力に富んだ人間の育成」

運営に関する計画(概要)

安全・安心な教育の推進

●小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にします。

未来を切り拓く学力・体力の向上

●小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にします。

学びを支える教育環境の充実

●校内アンケートにおける「パソコンやタブレット、電子黒板などを使った学習」が「たのしい」「わかりやすい」「もっとしたい」と肯定的な回答をする児童の割合を90%以上で維持する。

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果と取組み

(平均正答率%)

国語	71
算数	68

調査対象：小学校第6学年

令和5年度調査結果の概要・取組みの成果と今後の課題

令和5年度の平均正答率は、2教科とも大阪市平均を上回っており、全国平均と比較しても、国語科は3.8ポイント、算数科は5.5ポイント高かった。また、平均無回答率は、2教科とも全国平均、大阪市平均より少なく、問題に対して粘り強く取り組む姿勢が表れている。一方、学習内容の定着に課題が見られる児童が、2教科とも約2割程度みられる。

【国語】国語科の学習がおおむね習得できている一方、漢字を文の中で正しく使うことにおいて課題が見られる。朝学習の時間等を利用して基礎基本の学習の確実な定着を図るなど、課題解決に向けて取り組む。

【算数】算数科の学習がおおむね習得できている一方、「図形」領域と「記述式」回答については、正答率が50%台といった課題が見られる。算数科で、協働的に学ぶ時間を取り入れるなど、課題解決に向けて取り組む。

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果と取組み

令和5年度調査結果の概要・取組みの成果と課題、アクションプラン

全国平均と比較すると、男子は3種目、女子は2種目上回った。一方、ソフトボール投げは、男女ともに全国平均を約2m下回る結果となった。体力合計点でも男女ともに全国平均を下回る結果となった。

これまで、高学年でのトップアスリートによる夢授業の実施や体育インストラクターによる器械運動領域の指導など、各学年で児童の興味関心や運動能力向上を目的とした取組みを実施している。今後は、運動機能を向上させるビジョントレーニングの実施や運動量確保・運動能力向上の系統性をもった取組みを進めていく。

(種目別平均値)

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点
男子	16.61	19.22	33.48	40.13	39.82	9.66	154.13	18.42	51.68
女子	17.00	18.23	37.35	37.84	30.75	9.94	139.62	11.54	52.36

調査対象：小学校第5学年